

## 事業報告書

日時	男女共同参画講座イベント：令和3年6月26日（土）14:00～16:30 →中止 男女共同参画講座：令和3年7月28日（水）19:00～20:30 →集合研修中止 YouTubeでの録画動画配信：配信期間 令和3年8月5日（木）～8月12日（木） ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更
目的	男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指し、様々な取組を行なっている。今回は、啓発学習事業（沖縄県受託事業）にて「LGBTQ啓発講座」を開催する。第5次沖縄県男女共同参画計画 DEIGO プランにある目標4の「社会全体における男女共同参画の実現」の中にある施策4-2「男女共同参画に関する意識啓発の推進」と施策4-3「次世代に向けた意識啓発及び教育の推進」を柱に、LGBTQについての識者やサポートしている講師を迎えて、専門知識や用語、問題事例を挙げわかりやすく伝えることにより、性の多様性への理解を深め、啓発につなげることを目的とする。
対象	関心のある方
講師	竹内 清文 氏（NPO 法人レインボーハート okinawa 理事長）
会場	沖縄県男女共同参画センター「ているる」3階 研修室1. 2
定員	定員 20 名程度 YouTube 動画配信に変更になったため定員なし
参加者	申込者 34 名、動画視聴回数 84 回 （男女比不明）
講演内容 (概要)	1. 今日の目的 ①当事者の命を守るために。 ②私たちはみんな必ず人と違う→LGBTだけでなく全員に関係すること ③心を込める大切さ。ひとりひとり違う子どもたち ④子どもたちに必ず伝えている「5つの大切なこと」 1 自分らしくが大切！自分の心地よいあり方 2 周りと違って大丈夫 3 今すぐわからなくても、決めなくても大丈夫 4 自分と違う周りの人を大切に 5 わからないこと、困ったことがあったらひとりで悩まず相談する  2. LGBTQ・性的マイノリティとは L：レズビアン、自分を女性と感じていて、女性を好きになる人 G：ゲイ、自分を男性と感じていて、男性を好きになる人 B：バイセクシャル、男性女性両方を好きになる人 T：トランスジェンダー、体の性とは異なる性を生きる人、生きていきたい人

LGBTは一つの総称であり、そのほかにもいろいろなセクシャリティがある。

SOGI：「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の頭文字。  
LGBT／性的少数者とLGBTではない人／性的多数者と分けずにすべての人間にあてはまる性に関すること。

LGBTの当事者は人口の5%、沖縄県人口144万人中、7万2千人ほどいると言われている。「比嘉」さんの2倍もおり、当事者の約9割の人は「先生に相談できなかった。相談したくなかった」とのアンケート結果から見えてこない人たちの方が多い。

### 3. LGBTの現状 データからわかる取り組みの必要性

- ・ゲイをなんとなく自覚した年齢 平均13.3歳
- ・性同一性障害の人が性別違和感を自覚始めた時期  
小学校入学前まで56.6%、中学校まで89.7%
- ・性同一性障害の人が自殺念慮の発生時期の第1ピークは思春期  
(身体の変化、中学での制服問題、恋愛の問題等が重なる時期)
- ・49.7%が自殺を考えたことがあり、18.9%が自殺未遂を経験
- ・自殺未遂、異性愛者ではない男性 異性愛者の5.98倍
- ・LGBT・性的対象者の高校生3割が自傷行為
- ・LGBTの約6割がいじめにあっている
- ・先生がいじめ解決に役立ってくれた 13.6%
- ・不登校  
(LGBTの46%はセクシャリティが原因で学校に行きたくないと思ったことがある)
- ・トイレ  
(65%がストレスを感じ、10代のトランスジェンダー23%はトイレを使わない、我慢する)  
→だれでもトイレなど安心して使えるトイレの確保が必要。
- ・制服  
(制服を選べないことで不登校になったり、進路に迷う子どもたちがいる)  
→学校への事前相談不要で男女ともにスカート・ズボンを自由に選択できる制度の作り  
沖縄県では公立高校35校が導入済み、9校が導入決定。公立中学校は令和3年4月から36校が導入している。

### 4. 講師の体験談、当事者の親子関係

竹内氏自身の体験談、両親へのカミングアウト等。

もし我が子がLGBTだったら、親が受け入れないことで子どもはさらに追い込まれていく。ただ、親も相談しづらく孤立を感じる。

→保護者同士が相談できる環境作り、保護者対象講演会、学校講演会見学等の実施が必要。

### 5. 性の4つの指標

- ・身体の性
- ・心の性
- ・表現する性
- ・好きになる性

大事なのはどのカテゴリにはいるかというよりも「自分らしさ」や「自分のペース」を大切にしてほしい

### 6. 学校での取り組み（講演会以外にもできること）

児童・生徒への普及啓発・情報提供／相談対応（児童・生徒理解から始まる相談しやすい雰

困気) / 制服選択制 / だれでもトイレ / 男女混合名簿 / 着替え・健康診断・宿泊研修等での配慮 / 教職間での理解 (教職員で当事者の方もいる) / 職員福利厚生 / 保護者からの相談

7. 発達段階に合わせたLGBT・性の多様性の授業実践例・おすすめ絵本

「わたしはあかねこ」「ピンクになっちゃった」、「りつとにじのたね」、「タンタンタンゴはパパふたり」、「たまごちゃんたびにでる」等。

8. LGBT・性の多様性講演会継続のための資金造成活動

9. NPO法人レインボーハートokinawa 今後の講演会のご案内



竹内 清文 氏

参加者の声

- ・講演会の内容を学校現場において一人でも多くの児童生徒に正しく知ってもらえるように自分のできることに取り組みたい。性の多様性も含め大人も子どももこれまで以上に人権意識を高めていくことは、世界的にも課題となっていると思います。とくに考えが固まってしまっている大人たちとしっかり話ができるのとよりよいのではないかと思います。きよさんもお体にきをつけて活動をつづけてください。
- ・使用されている言葉も分かりやすく、事例も豊富なので、とても理解しやすかった。多くの人の命が救われるように、自身ができることを続けていきたいと思った。
- ・竹内さん講話ありがとうございました。対面の講演会等何度かお話し聴かせて頂いてます。子ども達の為に今後も様々な活動宜しくお願いします!私も学校現場で子ども達の思いに向き合う対応と理解を広げる活動をしていこうと思います。コロナ禍の折でも講座を開催して頂きありがとうございます。今後も社会を理解する為の様々な内容の講座を期待しています。
- ・多くの教員、保護者、子ども達に聞いてもらいたい講座内容でした。性別性指向だけではなく、みんな何かしらのマイノリティです。理解が深まり多様性を認める世の中になってほしい。
- ・今回は、講演ありがとうございました。日々モヤモヤしている子ども達があります。私は子ども達の話をつくり聴くことから始めていきます。ありがとうございました。
- ・このような内容の講座に参加したのは初めてでした。漠然と理解をしていましたが、より深く理解できた気がします。講師の方の熱意・気持ちがとても伝わり、楽しくあっという間に時間が過ぎていく内容でした。今後も機会があれば参加させていただきます。この度はありがとうございました。

主催等

主催：沖縄県・(公財)おきなわ女性財団